

VI 広島市観光施策の概要

1 目的

「活力にあふれにぎわいのあるまち」の実現に向け、即効性のあるにぎわいを誘導するため、広島ならではの「おもてなし」を基本姿勢に据え、ヒロシマという世界的な知名度や世界遺産、歴史を伝える魅力的な資源、豊かな自然をテコとしつつ、訪れた人に「また来てみたい」、「住んでみたい」と感じてもらえるよう、まち全体として「観光起こし」を推進する。

2 平成24年度の主な事業

(1) 都市のにぎわいづくりの推進

ア 観光イベントの実施

(ア) ひろしまフラワーフェスティバル

2012ひろしまフラワーフェスティバルを5月3日（木・祝）から5日（土・祝）の3日間開催する。今年は、平和記念公園を市民が育てた花で飾る「ピースフラワープロジェクト花育」において新たにハンギングバスケットのコンテストを実施するなどの拡充を図るとともに、朝鮮通信使再現行列の実施など国際色豊かな催しを実施する。また、「平清盛」平安絵巻と題した花車がパレードに参加するなど、都市の魅力とにぎわいを創出する。

(イ) ゆかたできん祭（さい）

夏の風物詩である「ゆかた」をテーマとする「ゆかたできん祭」を6月1日（金）から3日（日）の3日間開催する。メイン会場となる中央通りを2日間歩行者天国とし、様々なイベントを展開するとともに、昨年度に引き続き袋町公園で飲食ブースやステージを展開し、イベントの充実を図る。また、NHK大河ドラマ「平清盛」を活用し、ステージやブース展開、宿泊施設とタイアップしたサービスの実施など、県内外からの観光客の誘致につなげる取組を実施する。

(ウ) 広島みなと 夢 花火大会

広島港を舞台に「広島みなと 夢 花火大会」を7月28日（土）に開催する。「夢」をコンセプトに花火ミュージアムとして約1万発の花火を打ち上げ、夏の夜のにぎわいを創出する。

(エ) ひろしまライトアップ事業

広島の冬を代表する観光イベントとして人気定着している「ひろしまドリミネーション」を平和大通りを始め市内中心部において11月17日（土）から1月3日（木）までの間で実施し、「おとぎの国」をコンセプトに夜のにぎわいを創出する。

イ MICEの推進

市場ニーズの把握や他都市の取組について調査・分析をしながら、関連部局等と連携を図り、MICEの推進に取り組む。

※MICEとは

Meeting 企業等の会議

Incentive Travel 企業等の行う報奨・研修旅行

Convention 国内外の機関・団体、学会等が行う会議

Exhibition/Event 展示会・見本市、イベント

(2) 観光プログラムの開発と充実

ア 広島・宮島・岩国地域観光圏事業

2泊3日以上滞る滞在型観光を促進するため、圏域内の自治体等と連携し、地域内での新たな旅行商品や夜型観光資源の開発等に取り組む。

イ 交流体験型観光の企画・開発

湯来地区の地域資源を活用した交流体験型観光を推進するため、広島ツーリズム大学を開講し、観光まちづくりリーダー等の人材の育成を図るとともに、空き家を活用した交流体験イベントを実施する。

また、湯来交流体験センターと国民宿舎湯来ロッジが連携して、宿泊付きの交流体験事業等を実施する。

(3) 広島情報の発信

ア 観光客のニーズに即したまち歩きコースの情報提供

市内のボランティアガイド団体等が実施しているまち歩きのコースを取りまとめ、インターネットで「広島お好みまち歩き」として広く情報提供する。

イ NHK大河ドラマ「平清盛」を活用した観光振興事業

NHK大河ドラマ「平清盛」の放映に合わせ、県及び県内市町等と連携して大河ドラマを活用した観光PR事業を昨年度に引き続き実施する。

ウ 修学旅行誘致活性化事業

修学旅行で広島を訪れる学校を増やすため、全国の学校等への個別訪問による誘致活動のほか、県外教育関係者の招へい事業の実施など多様な誘致活動を行うとともに、体験型メニューの開発・充実を図る。

エ 広島県観光キャンペーンへの参画

広域化する観光ニーズに対応するため、県及び県内市町等と連携して、広島のブランド力を高める新しいコンセプト「瀬戸内ひろしま、宝しま」による新たな観光キャンペーンを強力に推進する。

オ ひろしま観光情報の発信

「ひろしま市民パブリシスト」を活用したメールマガジン「ひろしまファンクラブ」の配信など様々な方法で情報を発信し、広島への関心を高める。

カ インバウンド推進事業

国や県等と連携したVJ（ビジット・ジャパン）地方連携事業を実施し、中国・韓国・米国等を対象としたインバウンド商品化事業や訪日教育旅行促進事業に取り組む。

キ 訪日外国人旅行者の受入環境整備事業

平成24年3月に国から新たに戦略拠点に選定されたことに伴い、中国運輸局と連携し、外国人対応ができる観光案内所ネットワーク及び地域の魅力を体感できるモデルコース等を構築することで、外国人旅行者が滞在時を自由に満喫できる環境の整備に取り組む。

(4) ビジターズの受入環境づくり

ア 街角観光案内所の設置

広島滞在の利便性の向上を図るため、民間事業者の協力を得て、郵便局等で観光案内や観光パンフレットの配布などのサービスを行う街角観光案内所を設置する。

イ 宿泊客に対する市内公共交通機関のフリーパスの提供の検討

市内宿泊施設利用者に対するサービス向上を図るため、観光施設の割引等の特典が付いた公共交通機関のフリーパスの提供について、交通事業者、ホテル等の関係者で構成する検討委員会において検討する。

ウ 「ひろしま通」認定試験

ひろしまファンの増大を図るとともに、市民や観光関連事業者等の観光ホスピタリティを高めるため、「ひろしま通」認定試験を実施する。

エ 広島ユース・ホステルのあり方の検討

これまで広島ユース・ホステルが果たしてきた役割や今後果たすべき役割などを踏まえつつ、今後の運営も含めた施設のあり方について幅広く検討を行い、平成24年度中に方針を決定する。

(5) 「水の都ひろしま」づくりの推進

ア 水辺のオープンカフェ環境整備

京橋川オープンカフェの新規展開を図るため、京橋川左岸河岸緑地へのウッドデッキ等共用空間整備の実施設計を行う。

(整備スケジュール)

平成24年度 ウッドデッキ等実施設計

平成25年度 ウッドデッキ等整備工事

平成26年度 給排水設備等整備工事

イ 水の都ひろしま推進協議会の運営

水の都ひろしま推進協議会（市民団体、学識経験者、国・県・市で構成）で、次の事業を実施する。

(ア) 水辺のコンサート

春と秋の土・日曜日などに、原爆ドーム対岸親水テラスで、年20回程度のコンサートを開催する。

(イ) 水辺のオープンカフェ

京橋川、元安川、本川の河岸緑地で合計9店舗のオープンカフェを実施する。